

# Submission Guideline for the *Journal of Rehabilitation Neurosciences* (日本語版)

Ver. 2023.08.03

## 雑誌の概要

*Journal of Rehabilitation Neurosciences* (*J Rehabil Neurosci*, *JRN*) は脳機能とリハビリテーション研究会の Official Journal です。本誌名は第 18 巻までは脳科学とリハビリテーション (英語名: *J Rehabil Neurosci*) でしたが、第 19 巻からは日本語の誌名を無くし、英語名のみとなりました。*JRN* は脳機能とリハビリテーションに関わる臨床・基礎の研究成果を掲載する査読付き学術論文誌であり、中枢神経系の障害とリハビリテーションに関連した臨床科学、神経科学、神経生理学、医工学、社会科学の原稿を広く受け付けています。ただし未公開で他紙に掲載予定のないものに限り、英語で記述された論文の投稿を推奨していますが、日本語の論文も引き続き受け付けています。

## 投稿資格と掲載費用

- 投稿者の当研究会・会員資格の有無を問いません。また投稿、審査、掲載の費用もかかりません。

## オープンアクセスポリシー

- 本誌は掲載した全論文にクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを導入しています。これにより、著者は自身の論文の著作権を保持します。一方、誰でもその論文をダウンロードでき、またライセンスについて記載すれば(著作権者のクレジットを表示すれば)、再利用・改変利用・コピー・配布することができます。その利用について、著者や JRN 編集委員会の許可は必要ありません。

## 論文の種類

- *JRN* が受け付ける論文は下記の 7 種類です(日本語論文では、論文の種類の後ろに **in Japanese** が付きます)。

### ARTICLE

#### 1) Original Article / Original Article in Japanese

著者の研究成果を記述した原著論文です。明確な研究意図、目的、方法、結果、および結果を踏まえた考察と結論を、論理的、客観的に論説した研究報告です。基礎研究に限らず臨床研究も含まれます。

#### 2) Review Article / Review Article in Japanese

リハビリテーションに関わる主題に関し、これまでの経緯や現状、最新知見や問題点、将来展望について、学術論文を網羅して客観的に論説した総説論文です。主に依頼原稿ですが一般投稿も受け付けます。一般投稿の場合は投稿前に *JRN* 編集委員会 ([editor@noukinou.main.jp](mailto:editor@noukinou.main.jp)) にご相談ください。

### REPORT

#### 3) Brief Report / Brief Report in Japanese

早期公表のため簡明に記述した短報です。シンプルな研究デザインや少数例での予備的研究も含まれますが、Original Article と同様に明確な目的、方法、結果、考察、結論を記述します。

#### 4) Case Report / Case Report in Japanese

一人または少数の患者における特定の事例を記述する症例報告です。必定的な情報を過不足なく示し、これまでの知見との関係を論理的に記述します。

### NOTE

#### 5) Research Note / Research Note in Japanese

これまでに報告された知見、介入方法、解析法、新しい技術などについて、試行した結果を報告したり、紹介したりする論文です。追試研究も含まれます。Original Article や Brief Report ほどの新規性は求められませんが、明確な目的、方法、結果、考察、結論を記述します。

#### 6) Clinical Note / Clinical Note in Japanese

Case Report のように精密には検討していない臨床上の経験を、臨床所見の蓄積を目的として記述したものです。「A を損傷した患者が B という症状を呈した」、「C を損傷した患者に D というアプローチを行った結果 E になった」といった経験を記述します。

#### 7) Tutorial Note / Tutorial Note in Japanese

教育的な観点から、ある主題や手法・技術について具体的に説明する解説論文です。原則として編集委員会からの依頼原稿となります。

## 文字数, 図表数, 引用文献数の上限

- 本文の文字, 図表の合計, 引用文献数の上限は下記に従ってください.
- Review Article と Tutorial Note については文字数, 図表数, 引用文献数の制限を設けておりません.

<b>Original Article</b>	本文 12,000 文字 (英語 4,800 words), 図表合計 8 個, 引用文献 40 編.
<b>Brief Report / Case Report</b>	本文 9,000 文字 (英語 3,600 words), 図表合計 6 個, 引用文献 30 編.
<b>Research Note / Clinical Note</b>	本文 6,000 文字 (英語 2,400 words), 図表合計 4 個, 引用文献 20 編.

※文字数には論文表題, 著者・所属名, 要旨, 図表の説明文, 引用文献の文字数は含まれません.

## 原稿ファイルの基本形式

- Microsoft Word で作成された原稿での投稿を受け付けます.
- **原則として本誌指定の様式 (テンプレート) を用いてください.**  
ダウンロード: 脳機能とリハビリテーション研究会ホームページ <https://nourehaken.jp/journal/>
- テンプレートをを用いない場合には Microsoft Word にて下記のように設定してください.
  - 原稿サイズ: A4 版, 縦向き.
  - 余白: 上下 30 mm, 左右 20 mm.
  - ヘッダ: 中央揃えで「Journal of Rehabilitation Neurosciences」と記載.
  - フッタ: 右揃えで「頁番号 / 全頁数」を記載.
  - 行番号: 左余白部に行番号を記載 (頁ごとではなく通し番号).
  - 行間: 1 行 (ダブルスペースは不要).
  - インデント: 段落の初めは, 英語論文では半角英数 5 文字分, 日本語論文では全角 1 文字分の字下げ.
  - 本文フォント: 本文の全角日本語文字は MS 明朝などの明朝体. 半角英数文字は Times New Roman.
  - 図表フォント: 図表と説明文の全角日本語文字はゴシック体, 半角英数文字は Arial や Helvetica.
  - 文字サイズ: Main Text (本文) では 10.5 ポイント, 図表の文字サイズは印刷時を想定して見やすさを重視して任意に設定.
  - 文字色: 黒色. ただし, **修正稿における修正箇所は赤文字などで強調すること.**

## 文字・文章表記の基本事項

- 句読点, 英数文字, 全角と半角は下記に従ってください.
  - 句読点: 句点・読点はいずれも全角のカンマ・ピリオド.
  - 英字: 日本語論文においても半角英数文字.
  - 数字: 数値を表す場合は原則として漢数字でなく算用数字. 日本語論文においても半角英数文字.
  - ローマ数字: II, IV などは, 全角文字の記号ではなく半角英数文字の I や V を並べて記載.
  - ギリシア文字: アルファ ( $\alpha$ ) やベータ ( $\beta$ ) などは, 全角文字の記号ではなく半角英数文字.
- 単位は原則として国際単位系 (International System of Units, SI) や CGS 単位系に従って記載してください.  
例: 長さは「m」, 質量は「kg」など.  
例: 時間の単位「秒」は「sec」ではなく「s」.
- 数値と単位の間には半角スペースを挿入してください. ただし角度やと摂氏温度の記号では不要です.  
半角スペースが必要な例: ○「10 ms」, 「25 %」 ×「10ms」, 「25%」  
半角スペースが不要な例: 「10°」, 「25°C」
- 機器名は「一般名 (商品名, 会社名, 会社所在地, 国名)」, または「商品名 (会社名, 会社所在地, 国名)」の形式で表記してください.  
例: 経頭蓋直流電気刺激装置 (DC-Stimulator Plus, NeuroConn, Ilmenau, Germany)  
例: MATLAB 2016a (MathWorks, Natick, USA)
- 略語を用いる場合は標準的な略語のみを用い, 初出時にフルスペルや必要に応じて和訳も併記してください.  
例: Computed Tomography (CT)  
例: 機能的磁気共鳴画像法 (functional magnetic resonance imaging, fMRI)  
例: functional near-infrared spectroscopy (fNIRS, 機能的近赤外分光法)
- 略語を用いる場合に「(以下, ○○とする)」などの文章表現 (「以下, 」や「とする」など) は不要です.

## 原稿の構成

- 原稿はひとつの **Word** ファイル内に下記の 6 項目が含まれます。「改ページ」を用いてそれぞれ新しい頁で作成してください (図表はひとつにつき 1 頁).

- [1] Title and Author Information (論文表題, 著者情報)
- [2] Abstract and Keywords (要旨, キーワード)
- [3] Main Text (本文)
- [4] Reference (参考文献)
- [5] Figure and Figure Legend (図と図の説明)
- [6] Table (表)
- [7] Copyright (著作権)

### [1] Title and Author Information (論文表題, 著者情報) に含まれる情報

#### ◇ Title

- 英語の論文表題を記載してください.

#### ◇ Type of Manuscript

- 記事種類を前述の 7 種から選択してください (日本語論文では *in Japanese* を付加).
- 記事ごとに執筆項目が違うので注意してください (テンプレート:<https://nourehaken.jp/journal/>).

#### ◇ Author (s)

- 全著者名を「Masakage YAMAGATA<sup>1,2</sup>」のように英語で、苗字を全て大文字で記載してください.
- 所属機関の番号を 1 から出現順に上付きで付加してください.

#### ◇ Affiliation (s)

- 著者に付加された所属番号ごとに所属の英語名を原則として学部や学科まで記載してください.

#### ◇ Correspondence

- 連絡著者の情報を英語で、「著者名, 職種, 学位 (E-mail アドレス), 所属機関名, 所属機関住所。」のように記載してください. 職種と学位については未記載でも構いません.

#### ◇ Japanese author name(s) and title

- 本文が日本語の論文では、下記の例のように、日本語の著者名 (日本語の文字の無い著者は全て大文字での苗字と名前のイニシャル) と日本語のタイトルを記載してください.
- 例: 甘利虎泰, 山県昌景, DOE J. AAA の BBB に対する効果: サンプルタイトル.

### [2] Abstract and Keywords (要旨, キーワード) に含まれる内容

#### ◇ Abstract

- 背景, 目的, 方法, 結果, 結論の順で簡潔に本文の内容を要約してください.
- 要旨中に「Introduction」「Results」などの見出しは記載せず, また, 改行も挿入しないでください.
- 日本語の場合は 600 文字, 英語の場合は 240 words で作成してください.
- 本文が日本語の論文の場合, 初稿時は日本語で記述し, Editor の指示を受けてから英語化してください.
- 依頼原稿の場合には (日本語原稿であっても) 英語の抄録のみをご提出ください.

#### ◇ Keywords

- 3 個以上 5 個以内の英語キーワードをカンマ区切りで記載してください.

### [3] Main Text (本文) に含まれる情報

- ◇ 「Original Article」, 「Brief Report」, 「Research Note」は原則として下記の章立てで構成されます.
  - 1 Introduction, 2 Materials and Methods, 3 Results, 4 Discussion, 5 Conclusion, Acknowledgments (If relevant), Ethics Approval (If relevant), and Conflicts of Interest.

- ◇ 「Case Report」, 「Clinical Note」は原則として下記の章立てで構成されます。
  - 1 Introduction, 2 Case presentation (2.1 Age, sex, handedness (if relevant), and disease; 2.2 Past medical history; 2.3 History of present illness; 2.4 Social history (If relevant); 2.5 Family history (If relevant)), 3 Investigations (If relevant), 4 Treatment (If relevant), 5 Outcome and follow up, 6 Discussion, 7 Conclusion, Acknowledgments (If relevant), Ethics Approval (If relevant), and Conflicts of Interest
- ◇ 「Review Article」, 「Tutorial Note」の章立ては基本的に自由で、他の論文種別においても Caption (見出し) を必要に応じて改変することができます。ただし、論文の種類を問わず、「Introduction」, 「Conclusion」, 「Conflicts of Interest」は記述してください。
- ◇ Caption (見出し) を階層化する際は、原則として「1.1.」「1.2.」「1.1.1」「1.1.2」...のようにしてください。
- ◇ 科研費をはじめとした公的な研究費については「Acknowledgements」に記載してください。
- ◇ ヘルシンキ宣言 (以後の改正や補足を含む) に基づいたこと、対象者の保護に十分に留意したこと、説明と同意を得たことなど、倫理的な配慮に関する記述は、「Materials and Methods」ではなく「Ethics Approval」へ記述してください。また、倫理審査の機関名および承認番号も記載してください。
- ◇ 利益相反「Conflicts of Interest」に関し、企業などから利益を得ていることは、原則として論文の採否には影響しません。利益相反が無い場合にも必ずその旨を記述してください。

#### [4] References (参考文献)

- ◇ 「References」に記載されている文献は、必ず本文や図表中で引用されている必要があります。
- ◇ EndNote (Clarivate Analytics, <https://endnote.com/>) の JRN 用 Style ファイルを用意しております。  
ダウンロード: [https://nourehaken.jp/doc/JRN\\_Style\\_File.zip](https://nourehaken.jp/doc/JRN_Style_File.zip)
- ◇ EndNote を使用しない場合は下記を参考にしてください。
  - 投稿中の論文や学会抄録は引用できません。
  - 引用箇所で角括弧内に文献番号を数字で記載し、カンマで区切って表示 (半角スペースは不要)。また、3 つ以上の連番の場合はハイフンで繋げてください。  
例: 「Shimoda ら [1] によると...」, 「～という説もある [2,3]. 」, 「～と示されている [2-5,8,9]. 」
  - References の記載順序・番号は本文での出現順にしてください。
  - 著者が 7 名以上の場合には筆頭から 6 名を半角カンマで区切り、以降は「, et al.」としてください。
  - 論文や書籍・章タイトルの副題を繋ぐ記号は半角コロン、または半角ハイフンとしてください。
  - 雑誌名は略称とし Medline (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) の省略法に従ってください。  
日本語の和文誌名は略しません (例: 理学療法ジャーナルを PT ジャーナルなどと略さない).
  - 頁は「初頁-終頁」と表記し、重複している位の数字がある場合にはその記載を省略してください。  
例: 172 頁から 178 頁の場合は「172-8」、e152 頁から e159 頁の場合は「e152-e9」とする。
  - 頁ではなく論文番号で管理されている論文は、頁の表記箇所に論文番号を記載してください (引用例 3)。
  - 著書の引用時に一冊全てを引用することはせず、必ず引用した章や節の頁を記載してください。
  - 採用が決定している未掲載論文 (巻・号などが決まっていない状態の論文) の場合は「西暦, 巻, 頁。」の代わりに「in press.」と記載してください。
  - 引用論文の言語が日本語・英語以外の言語で記述されている場合はタイトルを [ ] で囲ってください。

#### ※ 引用例 (雑誌)

著者名. 論文タイトル. 雑誌名. 西暦発行年; 巻数 (号数): 引用頁.

1. Shimoda N, Takeda K, Imai I, Kaneko J, Kato H. Cerebral laterality differences in handedness: A mental rotation study with NIRS. *Neurosci Lett*. 2008; 430 (1): 43-7.
2. 高杉潤, 沼田憲治, 松澤大輔, 小出歩, 阿部光, 村山尊司, et al. 体性感覚障害に対するミラーセラピーの予備的研究 - 体性感覚脱失が一過性に改善した被殻出血 2 例の検討. *脳科学とリハビリ*

テーション. 2008; 9: 29-34.

3. Takahashi M, Takeda K, Otaka Y, Osu R, Hanakawa T, Gouko M, et al. Event related desynchronization-modulated functional electrical stimulation system for stroke rehabilitation: A feasibility study. J Neuroeng Rehabil. 2012; 9: 56.

※ 引用例 (単行本)

著者名. 書籍名. 版数. 発行地: 出版社名; 西暦発行年. p. 引用頁.

4. 山鳥重. 神経心理学入門. 東京: 医学書院; 1985. p. 133-7.
5. Moore BCJ. An Introduction to the Psychology of Hearing. 6th ed. Leiden: BRILL; 1985. p. 133-68.

※ 引用例 (編集書籍の一部)

著者名. 章タイトル. 編者名. 書籍名. 版数. 発行地: 出版社名; 西暦発行年, p. 引用頁.

6. Zifkin BG, Cracco RQ. An Orderly Approach to the Abnormal Electroencephalogram. In: Ebersole JS, Pedley TA, editors. Current Practice of Clinical Electroencephalography. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2003. p. 288-302.
7. 林田征起, 丹羽真一. 選択的注意と注意関連電位. In: 丹羽真一, 鶴紀子, editors. 事象関連電位: 事象関連電位と神経情報科学の発展. 東京: 新興医学出版社; 1997. p. 34-50.

※ 引用例 (ウェブサイト)

URL [cited アクセス日時 (西暦 月 日)].

8. [http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist08\\_2010/main.htm](http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist08_2010/main.htm) [cited 2017 June 12].

## [5] Figures and Figure Legends (図と図の説明)

- ◇ 論文に掲載される図については、必ず本文の文章中で言及されている必要があります。  
例: 「Figure 1 に○○の結果を示す。」  
例: 「△△と□□は有意に関連した (Figure 2a).」
- ◇ Figure には、グラフや模式図などの他、絵の画像、写真、脳画像 (MR 画像や CT 画像)、模式図やフローチャートなども含まれます。
- ◇ Word ファイルに画像ファイルを貼りつけ、印刷時に 2 段組みの 1 段分 (横幅 約 7.5 cm) で掲載したいか、2 段分 (約 15 cm) で掲載したいかを想定し、いずれかのサイズで貼付してください。
- ◇ 図中の文字は、印刷時のサイズを想定して適切なサイズで表現してください。
- ◇ 複数のグラフや写真をひとつの図中に表示する場合、原則として各グラフや写真の左肩に小文字で a, b などと表示してください。
- ◇ 図の下部に左詰めで「**Figure 1: ○○の結果**」(「**Figure 1:**」は太字)のようにタイトルを記述し、タイトルの下に左詰めで説明文を記述してください。複数のグラフや写真などを表示する場合は、説明文で「(a) 横断面の画像, (b) 矢状面の画像。」のようにそれぞれに説明文を記述してください。
- ◇ 図中で画像化される全角文字および図の説明文では、全角日本語はゴシック体、半角英数文字は Arial や Helvetica で記述してください。
- ◇ 図中に略語が出てくる場合は、本文中に記載済みでも、必ず図の説明文でフルスペルを記載してください。
- ◇ Figure は 1 個であっても「Figure 1」のように番号を振ってください。
- ◇ Figure が 2 個以上ある場合は、それぞれ新しい頁に作成してください。

## [6] Tables (表)

- ◇ 論文に掲載される表については、必ず本文の文章中で言及されている必要があります。  
例: 「Table 1 に入院時の患者の年齢, 発症後日数, SIAS スコアを示す。」  
例: 「△△の症状は経過により改善がみられた (Table 2, Figure 3b).」

- ◇ 文字を編集可能な表を Word ファイルに貼付してください。Excel などで作成後に貼り付けても良いです。
- ◇ 表上部に左詰めで「**Table 1: 入院時の患者情報**」のようにタイトルを記述し「**Table 1:**」を太字としてください。
- ◇ 表中の略語のフルスペルや「\*:  $p < 0.05$ 」などの説明は本文中に記載済みでも表の下部に記載してください。
- ◇ 原則として表中の全角日本語は**ゴシック体**、半角英数文字は **Arial** や **Helvetica** で記述してください。
- ◇ 罫線 (特に縦罫線) は可能な限り省略してください。
- ◇ 罫線の太さは一定とし、太さの違う罫線を混在させないでください。
- ◇ 記載される数値が小数点以下の桁を含む場合、小数点の表示位置や桁数、有効数字などを揃えてください。
- ◇ Table は 1 個であっても「Table 1」のように番号を振ってください。
- ◇ 表が 2 個以上ある場合は、それぞれ新しい頁に作成してください。

## [7] Copyright (著作権)

- ◇ 下記の赤字の箇所に入る著者名、職位、学位を記載してください。著者名の苗字は全て大文字です。職位や学位は未記載でも構いません。著者が複数の場合は第 1 著者のみを記載し「, et al.」としてください。

*Copyright © 2023 Torayasu AMARI, RPT, PhD, et al. This is an open-access article distributed under the terms of the Creative Commons Attribution License. The use, distribution, and reproduction in any medium are permitted, provided the original author(s) and source are credited in accordance with accepted academic practice.*

## 言語

- 日本語論文においても、Title (論文表題), Author(s) (著者名), Affiliation(s) (所属名), Abstract (要旨), Keywords (キーワード), Caption (節・項の見出し) については英語表記とします。
- 本文が日本語の論文でも英語の要旨のみが出版されます。ただし、投稿時には日本語で記述して査読を受けてください。Handling Editor からの指示を受けて英語化してください。
- 要旨の英語化については必要に応じてサポートしますのでお気軽に編集委員会にご相談ください。
- 本文が英語の論文の場合でも、日本語話者の場合は日本語で査読を行うことがあります。
- Title, Subtitle や Caption で大文字にするのは固有名詞や略語を除き先頭の文字のみとしてください。
- 著者に native English speaker が含まれない場合、掲載のために英文校正の証明書が必要です。

## 投稿の手順

- (1) Cover Letter (添え状), (2) Manuscript (図表も含んだ Word ファイル) を、Web 投稿システム・Editorial Manager ( <https://www.editorialmanager.com/jrnsci/> ) から投稿してください。
- 初めての投稿の場合には各自でアカウントを作成し、ファイルをアップロードします。詳細は脳機能とリハビリテーション研究会 HP <https://nourehaken.jp/journal/> にて解説致します(2023年8月2日現在準備中)。
- 再投稿時には (3) 返信状 (Response to reviewers) (査読者の質問・指摘に対する返信) も添付してください。
- 英語論文、日本語論文の英語要旨に関しては(4) 英文校正の証明書もお送りください。
- Web 投稿システムを介した編集委員会とのコミュニケーションは、原則として責任著者が行ってください。
- 初回投稿時に原稿番号が付与されるので、メールなどでの質問時には原稿番号を記載してください。

## 査読の流れ

- 原稿は編集委員会が依頼した編集者 (Handling Editor), または Handling Editor が依頼した研究者 (査読者, Reviewer) により査読されます。
- 著者が Handling Editor や Reviewer の情報を知ることはできません。

- 掲載可否は Reviewer の査読意見を基に編集委員会が決定します。
- 原稿に修正が必要な場合は、Web 投稿システムを通して Handling Editor から連絡著者に査読者の修正意見をお送りしますので、再投稿時には修正稿と査読に対する返信状をお送りください。
- 返信状 (Response to Reviewers) の様式は問いませんが、**査読者の意見を省略せず全て転記したうえで**、著者の返信を記述してください。
- 返信期日を設けていますが、期日の延長についてはお気軽に Web 投稿システムを通してご相談ください。
- **修正原稿では、修正部分の字の色を青字や赤字とするなど、Reviewer や Handling Editor が修正箇所に基づきやすいよう工夫してください。ただし修正履歴を残す Word 機能を用いた方法はとらないでください。**
- 本文が日本語の論文では、Handling Editor の指示したタイミングで英語化していただきます。
- 編集委員会からも修正案が提示されることもあります。
- 掲載巻号は原則として採用決定後に発刊される巻号となりますが、最終決定は編集委員会によりなされます。

### 査読終了後から著者校正までの流れ

- 査読が終了し Handling Editor により掲載可 (Accept) とされた論文は、Chief-in-Editor の承認を経て、最終的な採否が決定されます。
- 査読終了後に論文内容が変容するような文章の修正や図表の変更は認められません。
- 採用が決定した論文について、編集委員会が体裁の再確認および修正を行い、プレプリント版 (雑誌の発刊前の、巻・号未定の状態) が作成されます。
- プレプリント版は最終版の公開まで、J-Stage の JRN 雑誌 Web サイトにおいて PDF 形式で公開されます。
- プレプリント版を基に、著者による校正が行われます。
- 著者校正は原則として 1 回のみで、編集委員会の責任において字句をさらに訂正することもあります。
- 著者校正時に著者を増減させることは原則としてできません。
- 著者校正後の最終版は、J-Stage の JRN 雑誌 Web サイトにおいて公開されます。
- 最終版が掲載された後は、原則として、著者の所属情報やスペルミスを含め一切の修正が認められません。

### 投稿および執筆の参考資料

- 石井大典. 論文の書き方と投稿方法. 脳科学とリハビリテーション. 2015; 15: 1-4.  
<https://doi.org/10.24799/jrn.150423>
- 武田湖太郎, 石井大典. 論文を書くときの留意点. 脳科学とリハビリテーション. 2017; 17: 1-8.  
<https://doi.org/10.24799/jrn.170619>

### 脳機能とリハビリテーション研究会 投稿関連ページ

<https://nourehaken.jp/journal/>

### Web 投稿システム (Editorial Manager) ページ

<https://www.editorialmanager.com/jrnsci/>

### 学術雑誌 J Rehabil Neurosci (JRN) ホームページ

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jrehabilneurosci/>

### 問い合わせ先

Journal of Rehabilitation Neurosciences 編集委員会, E-mail: [editor@noukinou.main.jp](mailto:editor@noukinou.main.jp)